



【浦河小学校の教育目標】
「自ら学び心豊かに 自分の夢や希望の
実現に励む子の育成」

【令和4年度 重点目標】
「チャレンジ：目標へに向かって、協力して
計画的に取り組む力を養う」

発行：令和5年1月31日第14号

チャレンジする勇氣と失敗を恐れない勇氣を育てる

まよめの3学期に！

令和4年度納めの3学期が始まりました。冬休み中、大きな事故やけがなどの連絡もなく、無事に令和5年、そして新学期を迎えることができ、とてもうれしく思っています。

3学期始業式の校長あいさつで次のようなお話を子どもたちにしました。

(前段省略)

今日から2か月半の3学期がスタートです。3学期は、他の学期と比べるととても短い学期です。しかし、このたった2か月半の間で、これまで勉強してきたことを確認し、覚えきれていないことは練習しながら、新しいことも学んでいかなければなりません。また、6年生は小学校6年間の総まとめをして、中学校に入学する頭と心と行動力を身に付けるとしても大切な学期が3学期です。

この大切な学期である2か月半、浦小のみなさん一人一人に、「チャレンジ」という今年の浦小のキーワードを意識した行動をしてほしいと思っています。

もう少し詳しくお話すると、「失敗を怖がって何もしないのではなく、まずは行動してみて、成功と失敗からいろいろなことを学び、できることを増やして行ってほしい」と心から願っています。

さらに、浦小が「思い切ってチャレンジできる児童がたくさんいる」学校にするためには必要な条件があります。

一つ目は、「チャレンジする勇氣、失敗を怖がらない勇氣をもつこと」です。そして二つ目がとても大切なのですが、「自分の失敗だけでなく、他の人の失敗やできなかったことをやさしく受け入れることができる学級をつくり、その学級を支える人がたくさんいる」ことです。

多くの人たちがどんどんチャレンジし、そ

してチャレンジできる学校にするために、皆さんと先生たち全員で力を合わせて頑張る3学期にしましょう。

(中略)

卒業式、修了式の日「いい1年だった」と思えるよう、頑張ってください。

始業式の日、本当に寒い日で体育館も冷え切っていましたが、1年生から6年生まで本当にしっかりとした態度で式に参加し、この校長あいさつの間も話をしている人の方に体を向け、顔を上げて真剣に聞いてくれていました。昨年4月と比較し、本当に成長したと感じました。

浦小の子どもたちは、伸びしろがたくさんあります。まだまだ成長できるはずです。この3学期、子どもたち一人一人の持っている良さや力を最大限引き出してあげられるよう教職員一同、頑張っています。

保護者の皆さん、そして地域・関係者の皆さん、引き続きご支援ご協力をお願いいたします。

ご協力ありがとうございました

年度末保護者評価

昨年十二月に実施した年度末評価保護者アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。末のお忙しい中68名の方々から回答をいただきました。結果については、次の学校だよりに掲載いたします。アンケートへのご協力、貴重なご意見、本当にありがとうございます。

「子どもの”安全基地”に」

『浦河町幼保小連携・接続研修会』開催

今月25日に、第2回浦河町幼保小連携・接続研修会が開催されました。この研修会は、「0歳から小学校低学年の子どもたちを保育園・幼稚園・小学校教育で、どのように接すると健やかな成長につながるのか」を研修題として、北海道文教大学教授 石垣則昭さんを講師に招き行われました。

石垣教授の話は、『小1プロブレム→9歳の壁→中1ギャップ』から始まりました。

「小1プロブレム」とは、小学校に入学したばかりの子どもたちが、立ち歩きや他の児童へのちょっかいなど、保育所や幼稚園では見られなかった落ち着きのない行動が多くなることです。石垣教授によると、この行動の大きな要因は、『不安』だとお話していました。つまり、これまで遊ぶことで様々な成長を促してきた幼稚園・保育所から、

- ①時間が区切られ、
- ②知識を身に付ける活動がメインとなり、
- ③得意だったり好きなことだけをする環境から、好き嫌いかかわらず様々な活動を行わなければならない
- ④集団活動が中心

の小学校の環境への変化により、大きな不安が生まれ、それを解消する行動として上に書いたような落ち着きのない行動につながっているとおっしゃっていました。

また、『9歳の壁』とは、この時期にいじめや不登校が多くなることから言われる言葉です。このようなことが起こる原因は、9歳ころから他者を明確に意識するようになり、自分以外の人との比較から「劣等感」を持ち始め、さらに抽象概念の学びが始まるからだということだそうです。

このような話から、石垣教授はこれらの解決方法もお話してくださいました。

小1プロブレムに関しての解決方法として、

- ①環境に慣れるために、小学校入学前から小学校になれる幼保小の連携による取組
- ②授業中に落ち着かない状況の場合は、「いっしょに勉強しようか」という声かけ
- ③「仲間づくり」という遊びを取り入れる

があげられるとのことでした。

『小1プロブレム、9歳の壁、中1ギャップ』すべて関係することとして、子どもたち一人ひとりにとって、先生たちが「安全基地」になってほしいとおっしゃっていました。また、学校だけでなくそれぞれの家庭でも「安全基地」となる環境とともに、子どもの言葉や行動に対して、「スキンシップ」「温かいまなざし」といっ

た『子ども自身が自分が受け入れられていると実感できるかかわり方(安心感)』が大切だとも。9歳までの時期の安心感は、大人になってから「人を信用する」「自己肯定感」「心の安定」にも大きな影響を与えるそうです。

この研修会には、浦小から管理職も含めた7名の職員と3名の保護者が参加しましたが、子どもたちをより深く理解する方法をたくさん学ぶことができました。そして改めて学校と保護者との連携の大切さも実感しました。

今回の研修会のあと、早速、雛菊保育園から連絡があり、2月8日の新入生説明会とは別に、年長さんが小学校に来校することになりました。

4月から安心して小学校に通ってくることができるように、そしてスムーズなスタートができるように、今後積極的に、幼稚園・保育所と連携を図っていきたいと思います。

この研修会で学んだことを活かし、本校に通う児童一人一人にとって、先生たちが「安全基地」の存在になれるようにしていきたいと思います。

2月行事予定

日	曜	行事等	日	曜	行事等
1	水	児童会代表委員会	17	金	新年度分掌会議 B日課(1~3年5H 4~6年6H)
2	木	お話し会(2・3年) 年度末反省会議 B日課5H授業	18	土	
3	金	年度末反省会議 B日課5H授業	19	日	ノーゲームデー
4	土		20	月	
5	日		21	火	参観日 B日課1~3年5H 4~6年6H)
6	月		22	水	
7	火	全校朝会	23	木	天皇誕生日
8	水	R5新入生説明会 地区P理事会	24	金	定時退勤日
9	木	お話し会 新年度方針会議	25	土	
10	金	定時退勤日	26	日	
11	土		27	月	
12	日		28	火	
13	月	ICT支援員来校			
14	火				
15	水	交通安全の日 参観日(低学年) B日課(1~3年5H 4~6年6H)			
16	木	お話し会 新年度分掌会議 B日課5H授業			

2月は会議が多く、B日課の日がいつもの月よりも多くなっています。変更された日課は、1月20日にプリントでもお知らせいたしますので、そちらでもご確認ください。